

国際交流・観光セミナー「日米友好の将来：国際交流と観光の新しい姿」

日時：2019年3月21日（木）15時～18時

場所：アメリカ合衆国ワシントンDC

ロナルド・レーガン・ビルディング&ワールドトレードセンター

概要：近年、人と人との交流が、国際関係において重要な役割を担っている。このような交流は、民間外交と呼ばれており、政府間外交と同様に重視されている。国連世界観光機関（UNWTO）は、観光が平和と発展に大きく寄与する役割を強調している。この意味において、国際交流と観光は同様の役割を果たす。心理学的に見た場合、国際交流と国際観光は極めて近い関係にあり、両者とも異なる国々や人々への関心から動機づけられるものである。国際観光は、国際交流の端緒であり、その一部であると言える。

日米関係は最も緊密な二国間関係の一つであり、関係者の努力により、様々な側面で交流が深まりつつある。1912年には、東京市長からワシントンDCに桜が寄贈され、2011年の東日本大震災の際には、Tomodachi 作戦による米国からの復旧・復興支援が行われた。

日米間の交流は持続的な発展を継続している。訪日米国人旅行者数は、2014年以降、過去最高を更新し続けており、2018年には153万人となった。一方、米国は日本人出国者の訪問先の第1位であり、訪米日本人旅行者数は、2016年に358万人となった。

日米間の旅行自体も変化しており、リピーターや個人旅行が増加するとともに、単なる観光地巡りではなく、教育の場の交流、日米の文化の体験、ボランティア活動への参加など、旅行に求めるものが多様化している。また、個人がカスタマイズできるネット予約による旅行形態が浸透してきている。

本セミナーでは、日本及び米国の国際交流関係者、観光関係者等の有識者を招聘し、日米交流の現状と課題等について発表いただいた上で、今後の日米間の国際交流・観光の更なる発展に向けた関係者の取り組むべき方向性等について議論いただく。

プログラム：

- (1) 開会挨拶： 宿利正史 運輸総合研究所会長
- (2) 来賓挨拶： 杉山晋輔 駐アメリカ合衆国日本国特命全権大使
- (3) 基調講演： ノーマン・ミネタ 元米国運輸省長官
清野 智 日本政府観光局（JNTO）理事長
- (4) パネルディスカッション
 - ①（モデレーター）アビゲール・フリードマン ワシントン DC 日米協会役員
／元米国外交官／俳人
 - ② 島田文裕 在アメリカ合衆国日本国大使館公使（広報文化担当）
 - ③ ローラ・アボット 米日カウンシル取締役副会長兼 COO
 - ④ 小山田真 米国で活躍する日本人俳優、全米国際姉妹都市協会理事
 - ⑤ アーロン・オーディンシュワルツ ブランド USA（米国の政府観光局）
副理事長（公共政策担当）

後援等：

- ・日本政府観光局（JNTO）との共催。駐アメリカ合衆国日本国大使館後援。
- ・「全米桜祭り」公式イベントとして登録。

※ 全米桜まつり：2019年3月20日（水）～4月13日（土）

申込み：

参加費は無料です。以下のURLからお申込み下さい。

<https://www.japantransport.com/2019-tourism-seminar>